



校訓  
至誠 順化 剛健

令和5年度 福井市順化小学校スクールプラン

学校教育目標  
つながり合い、ひとりひとり輝く子の育成

めざす児童像

すすんで学ぶ子 なかよく助け合う子 明るく元気な子

研究主題「学びをつなぐ・未来につなげる」  
～個別と協働をつなぐ わかる授業づくりを目指して～

福井市学校教育目標

郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成  
学校教育方針 学びをつなぐ・未来につなげる  
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

保護者・地域・教職員の強み

- ・県・市の中心に立地し、歴史と伝統のある学校である。
- ・福井城址等の自然に囲まれ、学習に集中できる環境である。
- ・地域や保護者の学校教育活動への関心が高く、協力的である。
- ・教職員間の雰囲気良く、お互いが気軽に相談できる。

保護者・地域・教職員の願い

- ・たくましく生き抜く力を身に付けてほしい。
- ・将来に夢を持つ子になってほしい。
- ・思いやりや助け合いの心をもって行動できる子になってほしい。
- ・地域に誇りと愛着をもち、貢献できる子になってほしい。

本校児童の強み

- ・まじめに、前向きに学習に取り組む児童が多い。
- ・落ち着いていて、素直な児童が多い。
- ・お互いに仲間のことをよくわかっている。

本校児童の弱み

- ・困難を克服したり、新しいことにチャレンジしたりしようとする意欲が低い。
- ・自分の考えをもち、伝え合って考えを深めようとする意欲に差がある。
- ・単学級のため、人間関係が固定化しやすい。

確かな学力の育成  
すすんで学ぶ子

わかる授業づくり

◎主体的・対話的で深い学びの実現

- ・思考を深める学習課題の工夫
- ・学び合いの場の設定
- ・具体物の利用や体験活動の重視

◎基礎・基本の定着

- ・学びのルールへの定着
- ・基礎学力の定着
- ・読書活動の推進
- ・ユニバーサルデザイン化の推進

ICTの活用

◎1人1台端末の効果的な活用

◎情報モラル教育の推進

◎教職員の自己研鑽と協働体制

- ・校内研修の充実・研修会への積極的参加

- ・授業に進んで取り組む子 90%以上
- ・自分の考えを積極的に話す子 80%以上
- ・読書の習慣がある子 80%以上
- ・一人一人に応じた授業づくり 95%以上

豊かな心の育成  
なかよく助け合う子

居場所づくり・絆づくり

◎温かい人間関係のある集団づくり

- ・いじめを見逃ごさない生徒指導  
(定期的な生活アット・面談・SCの活用)
- ・生徒指導体制づくり(チーム・個別対応)  
(規律ある生徒指導と児童理解の充実)
- ・互いに認め合える学級づくり  
(IYカッター・SST・児童主体の学級活動)
- ・規範意識や自己肯定感の涵養

キャリア教育の充実

◎地域・郷土への誇りの構築

- ・夢や目標のある子 90%以上
- ・「ふるさとギャラリー」の活用
- ・「未来探検 in 順化」の推進
- ・地域と連携した活動の充実

- ・学校が楽しい子 90%以上
- ・夢や目標のある子 90%以上
- ・郷土福井を大切にしたい子 90%以上

健やかな心と身体の育成  
明るく元気な子

心づくり・体づくり

◎人権教育を含めた道徳教育の充実

◎自己の体力向上

- ・運動の楽しさを感じ、基礎体力向上に向けた授業時の共通取組の実施
- ・ランランタイムの継続・推進

◎望ましい生活習慣の確立

- ・あいさつ運動の推進
- ・保健学習(学校保健委員会・歯みがき指導)
- ・食育指導の推進(各学年1回以上)
- ・早寝・早起き・朝ごはんの推進
- ・メディアコントロールの推進
- ・感染防止対策の徹底

- ・道徳の授業で考えを深める子 90%以上
- ・健康な体づくりや生活習慣を意識した児童の割合 90%以上
- ・あいさつができる子 95%以上
- ・う歯治療率 100%

信頼される学校づくり

家庭・地域や中学校区との連携

◎地域を活用した学習・行事の工夫

- ・地域の資源や人材の積極的な活用
- ・地域コーディネーターとの連携
- ・教科領域横断的な学びの工夫

◎家庭・地域との協働体制の構築

- ・関係団体との協働事業の推進
- ・「白鳥懇話会」の開催
- ・情報発信による子どもの成長の共有  
(教育ウイーク・学校だより・学年だより・HP)

◎園小中の相互理解の推進

- ・学校は体験的な学習を積極的に取り入れ、学習活動の充実に努めていると考える保護者 90%以上
- ・学校は教育方針や教育内容を適切に伝えていていると考える保護者 90%以上
- ・校内や地域の人材を活用した教職員 90%以上

業務改善の取組

業務推進週間の活用、ICTの活用、欠席・遅刻連絡フォームの活用、タイムカードの活用、FEnetの活用、新会計簿の活用、終礼週1回、学校運営支援員の活用、ノー残業デーの遵守